

ラスベガスロックンロールマラソン完走レポート！

12月5日、ラスベガス観光局さんの依頼を受けて、私たち2人はラスベガスロックンロールマラソンに出場してきました。

ロックンロールマラソンとは、全米17都市で行われているマラソンシリーズ。制限時間4時間のハーフと同5時間半のフルマラソンがあります。ロックンロールマラソンが、他のマラソンと違うのはコース上数マイルごとにバンドがいて、ロックを演奏してくれること。ロックがガンガン流れる中を走っていくのです。

ラスベガスのコースは、ハーフマラソンがラスベガスの中心ストリップ(ラスベガスブルーバードの通称)をダウンタウンまで行って往復するコース。フルマラソンは、ストリップを往復した後、西の住宅地に向かいます。ストリップを閉鎖したところを走れるなんて、ラスベガス好きにはたまらないイベントです。

■マラソン前の金・土はヘルス&フィットネスエキスポへ■



マラソン直前の12月3日と4日は、マラソンのためのヘルス&フィットネスエキスポが、ベネチアの隣サンズコンベンションセンターで開かれました。マラソン出走者は、ここで5日のマラソンのためのチェックインをし、ゼッケンやT-Shirt、お土産の入ったGear Bagなどをもらいます。Gear Bagとはただのビニールのバックですが、マラソン当日、荷物を預ける際、これに入れなければいけないためとても重要なものなのです。



ゼッケンの番号は5桁。最初の2桁は、自分たちの出発組(Corral)を表しています。私の番号は32000。つまり32組目ということ。申し込みの際に予想ゴールタイムを書くところがあり、その早い人から1組目、2組目となります。ハーフマラソンを1時間で走り切ると申告した人の方が、4時間と申告した人より早い組になっているのです。番号は事前に知らされているので自分の組の所に行って、ゼッケンなどが入ったパッケージをもらいます。(写真左)そして次にGear Bagをもらいます。(写真右)自分の番号が分からなくても入り口に番号一覧がありますので、問題ありません。



そのまま流れに沿って行くと、スポンサー企業がブースを出すエリアへ。T-Shirt やランニングシューズなどの販売や誰でも楽しめるゲームやフリーフードなどもありました。

■ラスベガスマラソン日本事務局前夜祭■



ヘルス&フィットネスエキスポと平行して、4日は午後2時から、ラスベガスマラソン日本事務局主催の前夜祭がイタリアンアメリカン・ソーシャルクラブで行われました。日本からの出場者やラスベガス在住の出場者など、約100名が集まり、おいしいビュッフェと、台湾やフィリピン、中国、日本で活躍するアーティストの歌やダンスなどを楽しみました。



そこでお会いしたのが、バーチ敏枝さん、メッキー美喜さん、カセレス百香さんの3人。ラスベガス在住のマラソンの常連さんです。3人ともフルマラソンを走るそう。す、すごすぎます……。敏枝さんは体育の先生で、アメリカ西部のマラソンやトライアスロンに頻りに参加されている方。今回の目標時間は3時間50分とのこと。美喜さんは40歳を前に何か苦手なことに挑戦しようとマラソンを始めたそう。今回の目標は4時間20分。そして百香さんは、5時間が目標でできるだけ美喜さんについて行きたいとのこと。皆さんパワフルです。

■前夜の準備■

4 日の夜。自分の服にゼッケンを付け、明日の持ち物をしっかり確認します。ここで、忘れてはいけないのがシューズの紐のところに時間を計るタグをつけること。この写真左のオレンジのものが計測タグ。これが付いたシューズで計測ポイントを踏むと時間が記録されるという仕組みだそうです。ですので、これでスタート地点を踏んだ時間がその人のスタートタイム。ゴールを踏んだ時間がゴールタイムとなります。



■12月5日マラソンの日の朝■



マラソンは、1 組目が 7 時スタート。1~2 分間隔で、1 組ごとスタートするので、最終組 32 組目のスタートはどう見積もっても 7 時半を過ぎ。1 組目がスタートしてからも、トイレに行ったり、写真を撮ったりして、過ぎました。スタート地点近くのマンダレイベイのパーキングには、バナナやスポーツドリンク、エナジーバーなどもたくさん置かれていて取り放題。トイレも、何百台と設置されていました。

このマラソンは、コスチュームで走ることも OK。ラスベガスらしくエルビスプレスリーがたくさん。また、マラソンの途中で結婚式をすることができるのも、このラスベガスロックンロールマラソンのユニークなところ。走りやすいウエディングドレスとタキシード姿のカップルもいて、雰囲気盛り上げていました。エルビスと結婚式カップルは全員一緒に 14 組目にスタート。(結婚式の詳細は P.6)

■最終組スタート■

最後の組 32 組目がいよいよ出発。時間はすでに 7 時 47 分。「3, 2, 1 パン！」と言う音とともに、一斉に走り出すのかと思いきや……。誰一人走らず……。ちょっと早歩きを始めた程度でした。上でも述べたように、32 組目は最後の組。予想タイムを 4 時間の制限時間ぎりぎりまで提出した人たちです。歩き切るのが目標なので誰も焦らないのです。私たちも、みんなと一緒にちょっとだけ早歩きを始めました。



ハーフマラソンの距離は約 13.1 マイル、約 21 キロです。制限時間 4 時間で完走するということは、1 マイル 18 分

程度で進めば OK ということ。1 分 100m ちょっと。アクシデントなく歩き続けることができれば、歩いてでもゴールできるんですね。



歩き始めて 10 分……。

ニューヨークニューヨークの交差点が沸きました！どうしたのだろうと見てみると……。

きゃ————っ、トップの人たちが帰ってきました！！

私たちが今から 4 時間近くかけて歩こうとしているところを、すでに走り終わって帰ってきたのです。考えてみれば、トップの人が出発したのが約 1 時間前です。ハーフの距離ならそれぐらいでゴールしてもおかしくないわけですね……。女性の 1 位の人も、この後すぐにやってきました。

私たちも、彼らに声援を送り、歩き続けます。

1 マイル地点は MGM を越えてすぐ。約 16 分でここまで来ました。とても良いペースです。2 マイル地点は、シーザスパレス前。今度も約 16 分で到達。練習の時は、2 マイルぐらいで疲れたり足が痛くなったりしていたのに、この日は全く問題なし。快適に歩きます。



給水所はいくつもあり、お水とスポーツドリンクの両方を配ってくれていました。昨日の前夜祭であった常連さんたちに「水分はきちんと補給するように」と教えてもらったので、給水所があるごとにどちらかを飲みました。もちろんコースの途中にトイレもたくさんあったので、飲みすぎてトイレに行きたくなくても問題ありません。



沿道には、こんなかわいい応援団もたくさんいて、私たちが元気付けてくれました！



私たちが、ストリップの端のストラトスフィアタワー付近に到達した頃には、たくさんの方が折り返して帰ってきていました。エルビスも走り続けています。(写真左)ここまでは、豪華なホテルが立ち並ぶストリップを楽しく歩いてきましたが、ここから特に見所がないダウンタウンの方へ入っていきます。



ですが、そんな私たちの気持ちをバンドの方たちが盛り上げてくれます！！ストリップより少しペースは落ちましたが、元気に歩くことができました！



約 6 マイル付近。ウエディングドレス&タキシードのカップルと一緒に
なりました！話を聞いてみると、このカップル、この日にマリッジライ
センスを取ってきたそうです。

このラスベガスロックンロールマラソンの演出の 1 つに、「走りながら結
婚式が挙げられる」と言うものがあります。登録の際に申告が必要で、
結婚式を挙げる人(結婚記念式でも OK)は、全員同じ 14 組でスタート
しました。

今年の結婚式はベネチアン前で。スタートからこの衣装で走ってきて、
神父さんの前で誓いの言葉を述べ、またまた走ってゴールに向かって
走ります。

ラスベガスは、激安、簡単、ユニークな結婚式ができることで有名など
ころ。こんなマラソンの最中に結婚式なんていうラスベガスらしい演出も
良いですね！2006 年に、ラスベガスのストラトスフィアタワーの絶叫マ
シーン結婚式をした私たち。来年のマラソンは、これがいいかも！



いよいよストリップに戻ってきました！練習のときに歩いた最高距離は5マイル。すでにその地点もはるかに通り越し、順調順調。足の裏と膝が少し痛いなど思いましたが、ゴールにたどり着けないほどではありません。



距離表示は、マイル表示が1マイルごと、キロ表示が5キロごとにありました。15キロ地点で、2時半が経過。制限時間4時間まで約1時間半あったので、時間内のゴールを確信しました。ここから写真を撮ったり、動画を撮ったりして、少しゆっくり歩きました。11マイル地点で、ちょうど3時間。あと2マイルなので余裕です。やったー！！

シティセンター前で名前を呼ばれたので見てみると、Twitterの友達がわざわざ応援に来てくれていました！今回のこのマラソン中、私たちは2人でせっせっせとTwitterに楽しいマラソンの様子を書き込んでいました。それを見て、ちょうど良い場所を定め、来てくれたそうです。友達の笑顔に元気をもらい、ペースも上がります。



そしていよいよゴールのマンダレイベイが見えてきました。まだまだ体力的に余裕だったので、ペースを上げました。マンダレイベイ手前の交差点では、フルマラソンの人たちとも合流。声援もすごく増えて、一気にテンションも上がります。

マンダレイベイのパーキングに入ると、そこでは巨大コンサートが行われていて、大盛り上がり。私たちが目の前のゴールを見て、走り始めてしまいました！！



そして、走りながらゴール————ール！！結果は、3時間42分でした！

ハーフマラソンの感想。とにかく「楽しかった」の一言です。マラソンを走った人がみんな、「1回走ったら、また走りたくなるんだよね」と言っていました。マラソンをするまでは、「いやいや、またまた～」と思っていましたが、今はその気持ちが分かります。もちろん、このラスベガスロックンロールマラソンには次回も参加したいですし、他のマラソンにも挑戦したくなりました。来年の目標は2時間。今度は走るぞー！

取材、撮影：

Sunny Sunny TARBEE Inc.

芦刈いづみ

飯富崇生

<http://la-pan.com>

